



アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

2014/10/7

2014 FIA F1世界選手権シリーズ第 15 戦 日本グランプリ

2014 S-FJ ドリームカップレース

CAR No.35

**Beyond**

長谷川 綾哉

アルビ開志高校ビヨンド KK-SED RS 神野

CAR No.36

**M.I.D Japan Inc.**  
Mitsui Impress Development

早坂 祐希

アルビ RT ED GIA うちざわ接骨院

CAR No.37

**MAKE  
WINNER**

岡崎 善衛

アルビメーカーウィナーK-Winds ワタナベ MT

CAR No.57

**GIA** 専門学校  
新潟国際自動車大学校

北川 博崇

GIA 新潟国際自動車大学校

アルビレックス RT ワコーズ ED

10月4日(土)予選 5日(日)決勝

鈴鹿サーキット 1 LAP=5.807km 出走：27台

予選結果：早坂選手 11位 長谷川選手 24位 岡崎選手 25位 北川選手 26位

決勝結果：早坂選手 13位 長谷川選手 20位 岡崎選手 22位 北川選手 26位

#### ■10月4日(土) 9時30分予選スタート

天候：晴れ コース：ドライ 気温：27℃ 湿度：35% 路温：30℃

早坂選手は 2 番手でコースイン。先頭車両を追うことでタイムアップを狙うが、ペースの速い先頭車両に徐々に離されていき、トップから 1.6 秒落ちの 11 位で予選を終えた。

長谷川選手、岡崎選手は初の鈴鹿走行ということもあり、24 位、25 位で決勝を迎える。

同じく鈴鹿初走行となる北川選手は残り 5 分を切ったところで、スプーンコーナーで単独スピン、リヤからスポンジバリアにヒットしリヤウイングを中心に破損してしまう。タイムも 26 番手にとどまり、翌日の決勝に向けてマシンの修復作業に取り掛かることとなる。

## ■10月5日（日） 11時決勝スタート

天候：雨      コース：ウェット      気温：20℃      湿度：81%      路温：20℃

雨の中のレーススタートとなったが、大きな混乱もなく各車1コーナーからS字へと抜けていく。早坂選手はポジションをキープしたままスプーンコーナーに差し掛かるが、後続の車両に追突されスピン。しかし、360度ターンを決めすぐに復帰、2つポジションを落とすだけで被害を最小限に食いどめた。

レースはウェットコンディションということもありスピンの多発。早坂選手はオープニングラップのスピンから持ち直し11番手までポジションを回復したものの、ファイナルラップの130Rで痛恨の単独スピン。これでポジションを2つ落としてしまい、13位チェッカーとなった。

長谷川選手はスタートで順位を上げ、他車のスピンもあり予選から順位を4つ上げて20位。岡崎選手は3つ順位を上げ22位でチェッカーを受け、北川選手は淡々と周回を重ね26位でレースを終えた。

### ○長谷川選手コメント

F1と同じ日に同じ舞台でレースができてよかったです。鈴鹿は初めてだったので、すごく勉強にもなりました。今回の経験を次の富士最終戦につなげていきたいです。

### ○早坂選手コメント

去年よりもいい結果を残すことができました。ただ、最後のスピンは余計でした。タイム的にも上位の選手と同じくらいのタイムは出ているので、自信になったレースでした。

### ○岡崎選手コメント

久しぶりのレースは初めての鈴鹿をぶっつけ本番で挑むことになりましたが、無事完走できてよかったです。F1という舞台でレースをすることができ、チームの皆さん、サポートして頂いた皆さんに感謝します。本当にありがとうございました。

### ○北川選手コメント

フリー走行、予選と2回もクラッシュしてしまい、チームの皆さんには迷惑をかけてしまいました。それでも、マシンを直して無事レースを終えることができ、本当にありがとうございます。この経験を次の茂木に活かしていきたいです。

### ○中村監督コメント

今回2回目となった、自動車レース世界最高峰のサポートレースに参加できるという事でとても楽しみにしておりました。今年度は早坂選手、長谷川選手、北川選手と、急遽ス

ポット参戦が決まった岡崎選手での参加となりました。2010年度新人の早坂選手が鈴鹿シリーズに参戦しておりましたので、どの位成長したか楽しみでもありました。

決勝自体、台風により開催が危ぶまれましたが無事開催し、早坂選手がトップ同等のタイムを出せることが証明でき、自信に繋がったと思います。

また、長谷川選手は初めての鈴鹿で勉強になったと思います。

北川選手は2度クラッシュしてしまいましたが、学生メカニックの頑張りで修理し走行できたことがなによりも大きい絆を築いたと思います。

岡崎選手は慣れないコース、慣れないマシンで健闘いたしました。

F1という舞台に参加でき誠にありがとうございました。ヤングドライバー達も一生の記念になったと思います。世界の舞台に参加できた事を糧に今後も技術向上に努めてまいります。今後とも応援宜しくお願いいたします。





**P PLUS**  Nankai Plus.Co.,LTD.

**鈴木会計** **Moty's**  
埼玉・川口 <http://www.tcnf.com/sds>



**新潟日報** **MOTOR FREAK**



- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース ・ みがき屋エンマ
- ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ ・ 関根車体